

2021年10月入学

岡山大学大学院社会文化科学研究科
(博士後期課程)

外国人留学生 SDGs 海外特別入試学生募集要項

岡山大学大学院社会文化科学研究科

連絡先 岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当
所在地 〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
TEL : 086-251-7357, 7362 (国内から)
81-86-251-7357 (海外から)
FAX : 81-86-251-7350 (海外から)
E-mail : ggg7372@adm.okayama-u.ac.jp

岡山大学大学院社会文化科学研究科の教育における3つの方針（ポリシー）

岡山大学大学院社会文化科学研究科は、文学部、法学部、経済学部の3つの学部を基盤とし博士前期課程と博士後期課程から構成される学際型・融合型の大学院です。博士後期課程には、社会文化学専攻のもと文化共生学講座、人間社会学講座、政策科学講座の3講座があります。

岡山大学大学院社会文化科学研究科は、西日本における学術研究の中核拠点の1つとして国際水準の研究・教育を行い、高度な専門性と幅広い視野および豊かな人間性を備えた有為な人材を育成しています。また地域の行政や企業をはじめとする様々な主体と深く結びつくとともに、地域の文化・社会・経済に貢献する大学院として機能しています。

（1）入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）

博士後期課程においては、文学・法学・経済学の各分野において高度な専門的分析能力を身につけることを目指すとともに、「共生社会の構築」の理念に基づく、多様で学際的なアプローチからの研究を志向している入学者を求めています。専門分野に関する学力と柔軟な思考力、豊かな知性と感性を備え未知に挑戦する強い目的意識と探求心を持って、学術研究に意欲的に取り組む気概のある人を受け入れています。

（2）教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

博士後期課程では、当研究科の理念である「共生社会の構築」等に基づいて、文化、組織、個人、地域社会等を対象にした、多様な、そして学際的なアプローチからの研究を支援する大学院教育プログラムを提供しています。

（3）学位授与の方針（ディプロマポリシー）

博士後期課程では、自らが研究課題を探究して実施した研究を博士論文にまとめ、その研究成果が学術的創造性に富み、且つ当研究科の定める学位授与の水準を満たしていることに加え、自立した研究遂行能力と相応の広い学識を修得している者に対して博士の学位を授与しています。

博士後期課程の修了要件は、同課程に3年以上在学し、指導教員の指導により、12単位（講義6単位、演習6単位）を修得すること、かつ、社会文化科学研究科博士後期課程の行う学位論文の審査及び最終試験に合格することです。

目次

1. 募集人員	1 ページ
2. 出願資格	1 ページ
3. 出願資格審査	1 ページ
4. 出願手続	2 ページ
5. 受験番号の通知	4 ページ
6. 入学試験の方法及び入学者選抜方法	4 ページ
7. 合格者発表	4 ページ
8. 入学手続	4 ページ
9. その他	4 ページ
10. 概要及び博士後期課程担当教員一覧	8 ページ

外国人留学生 SDGs 海外特別入試の特徴等

大学院社会文化科学研究科（博士後期課程）の外国人留学生 SDGs 海外特別入試では、入学志願者が入学試験のための渡日をする事なく、日本国外に居住のまま受験することができます。

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員
社会文化科学研究科 (博士後期課程)	社会文化学専攻	若干人

2. 出願資格

次の各号のいずれにも該当する者

1 次のいずれかに該当する者

- ①外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は2021年9月までに修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者
- ②研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2021年9月までに24歳に達しているもの

2 岡山大学の大学間交流協定校又は本研究科、文学部、法学部、経済学部の部局間交流協定校を卒業した者及び2021年9月までに卒業見込みの者

3 日本語能力試験1級又はN1を取得している者

4 日本国外に居住し、入学試験を受験するために渡日することができない外国人（日本国籍を有する者及び日本の永住権取得者を除く）。

(注1) 出願資格1-②により出願する方は、出願に先立ち出願資格審査を行います。

(注2) 大学院入学後に、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を取得できる見込みの者

(注3) 学位授与見込みで出願した者で、2021年9月までに学位が授与されない者は入学を取り消します。

3. 出願資格審査

(1) 出願資格審査方法

出願資格1-②により出願する方は、出願に先立ち出願資格審査を行います。

該当の入学志願者は、下記(3)の申請書類を、受付期間内に必着するよう「国際スピード郵便」にて下記(2)の申請書類提出先まで郵送してください。

(2) 申請書類受付期間・提出先

2021年3月22日(月)まで(必着)

封筒の表に「大学院社会文化科学研究科博士後期課程外国人留学生 SDGs 海外特別入試出願資格審査書類在中」と朱書きし、「国際スピード郵便」で郵送してください。

提出先：〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当

(3) 申請書類

- ①入学試験出願資格認定審査願(所定様式)
- ②履歴書(所定様式)
- ③研究業績表(所定様式)及び研究経過報告書(様式任意)(2,000字程度)
- ④最終学校の修了(見込)証明書

⑤最終学校の成績証明書

※ 出願書類はすべて原本に限ります。(④, ⑤の書類は, 受付時に複写し, 返却します。)

(注) 上記の書類のうち外国語で作成されている書類は, 日本語訳を添付してください。

(4) 申請書類の請求方法

岡山大学大学院社会文化科学研究科ホームページ(下記 URL 参照)から, 出願資格審査申請書類を取得してください。

URL http://shabun.ccsv.okayama-u.ac.jp/admission/kaigainyushi_d_shinnsa_youshiki

(5) 認定方法

書類審査により行います。

(6) 審査結果について

審査結果については2021年4月5日(月)頃本人あてに「国際スピード郵便」で通知します。なお, いかなる理由があっても提出書類(申請書類④及び⑤は除く)は返却しません。

出願資格が認められた方は, 4. 出願手続に従い出願手続を行ってください。事前審査で提出済みの証明書等は, 出願手続時に再度提出する必要はありません。

4. 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は, 下記(5)の出願書類等を, 出願期間内に必着するよう「国際スピード郵便」にて下記(3)の出願書類提出先まで郵送してください。

(2) 出願期間

2021年4月19日(月)～2021年5月7日(金)まで(必着)

(3) 出願書類提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当

(4) 出願上の注意

- ①出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ②出願書類受理後は, いかなる理由があっても返却しません。
- ③出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は, 入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。

(5) 出願書類等

- ①入学願書・履歴書(所定様式)
- ②出身大学の成績証明書
- ③出身大学院の成績証明書
- ④出身大学院の修了(見込)証明書
- ⑤学位論文(修士論文の写)
- ⑥学位(修士)論文の要旨(2,000字程度)(所定様式)
- ⑦研究業績書(所定様式)
- ⑧研究計画書(2,000字程度)(所定様式)

⑨日本語能力試験1級又はN1の証明書

公益財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金が主催しているもの

⑩写真（最近3ヶ月以内に撮影したもの、縦4cm×横3cm、上半身、正面、脱帽、裏面に氏名を記入し、入学願書の所定の箇所に貼付してください）

⑪入学検定料支払証明書（所定用紙に貼付）

入学検定料 30,000円を5ページからの「9. その他（4）入学検定料支払の流れ」によりお支払いください。入学検定料の支払確認後に、「入学検定料支払証明書」を印刷し、所定用紙の所定欄へ貼付してください。

※2021年4月1日から入学検定料の支払手続きが可能です。

⑫在籍大学院（出身大学院）からの推薦書（所定様式）

（注1）出願書類はすべて原本に限ります。（②，③，④，⑨）の書類は、受付時に複写し、返却します。

（注2）いかなる理由があっても支払済の入学検定料は返還しません。ただし、次の①～③の場合については、その限りではありません。

①入学検定料を支払ったが、出願書類等を提出しなかった場合

②入学検定料を支払ったが、出願が受理されなかった場合

③入学検定料を誤って二重に支払った場合

（注3）上記の書類のうち日本語以外で作成されている書類は、日本語訳を添付してください。ただし、出願書類⑤の学位論文（修士論文）については、日本語訳は不要です。

（6）入学願書志望教員欄について

この欄は事前に志望教員の人数把握を行い、指導体制を整えるために記入してもらうものです。記入に際しては、当募集要項の10～13ページ又は岡山大学ホームページ（<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/reserch/index.html>）の研究者・研究情報等を参照し、志望教員に事前連絡の上、必ず記入してください。

（7）出願書類の請求方法

岡山大学大学院社会文化科学研究科ホームページ（下記 URL 参照）から、出願書類を取得してください。

URL http://shabun.ccsv.okayama-u.ac.jp/admission/kaigainyushi_d_youshiki

（8）個人情報の取扱い

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。ただし、入学者については志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を本学学務システムの学校基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名（漢字・カナ）の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

5. 受験番号の通知

(1) 受験番号は、2021年5月17日(月)頃に「入学願書」に記載されているメールアドレス宛に通知します。

なお、到着しない場合には、次の連絡先に連絡してください。

岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当

FAX：81-86-251-7350

E-mail：ggg7372@adm.okayama-u.ac.jp

(2) 受験番号は、合格発表及び入試情報開示請求の際に必要なとなりますので、大切に保管しておいてください。

6. 入学試験の方法及び入学者選抜方法

応募書類により書類審査を行い、可否を決定します。

7. 合格者発表

2021年6月8日(火) 13時

岡山大学大学院社会文化科学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には文書で通知します。なお、電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

8. 入学手続

(1) 入学手続方法

詳細は合格通知書とともに送付する「入学案内」により通知します。

(2) 入学手続期間

詳細は合格通知書とともに送付する「入学案内」に掲載しています。

9. その他

(1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円 [予定額]

授業料(年額) 535,800円 [予定額]

※入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

(2) 修学援助

修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金の制度があります。

(3) 問い合わせ

本学生募集に関する問い合わせは、下記あてにFAX又はEメールで行ってください。

①出願、専攻分野、志望教員等に関する問い合わせ

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当

FAX：81-86-251-7350

E-mail：ggg7372@adm.okayama-u.ac.jp

②宿舎に関する問い合わせ

岡山大学グローバル人材育成院・国際部留学交流課

E-mail：housing@cc.okayama-u.ac.jp

(4) 入学検定料支払の流れ

入学検定料支払の流れは、以下のとおりです



STEP
1
✓

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを
用意してください。
(スマートフォン、タブレットは非推奨)

STEP
2
✓
✓

STEP 2 入学検定料支払サイトにアクセス

日本語サイト <https://e-apply.jp/n/okayama-payment-jpn>
または、
英語サイト <https://e-apply.jp/n/okayama-payment-eng>
または、
大学
ホームページ <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/index.html>
からアクセス

STEP
3
✓
✓
✓

STEP 3 個人情報の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①試験方式、研究料等

②テスト送信メールの確認
テストメール送信を行い、登録アドレスにテストメール受信の確認後、メールアドレス下の【メール確認済】のチェック☑を入れてください。

③個人情報(氏名・住所等)

④申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。
個人情報を確認する場合と、入学検定料支払証明書を出力する際に必要になります。

⑤入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード

⑥入学検定料支払証明書
(イメージ)

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、**支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号**を控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、個人情報登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

4

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

個人情報の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

個人情報の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



Famiポート



クラブステーション



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

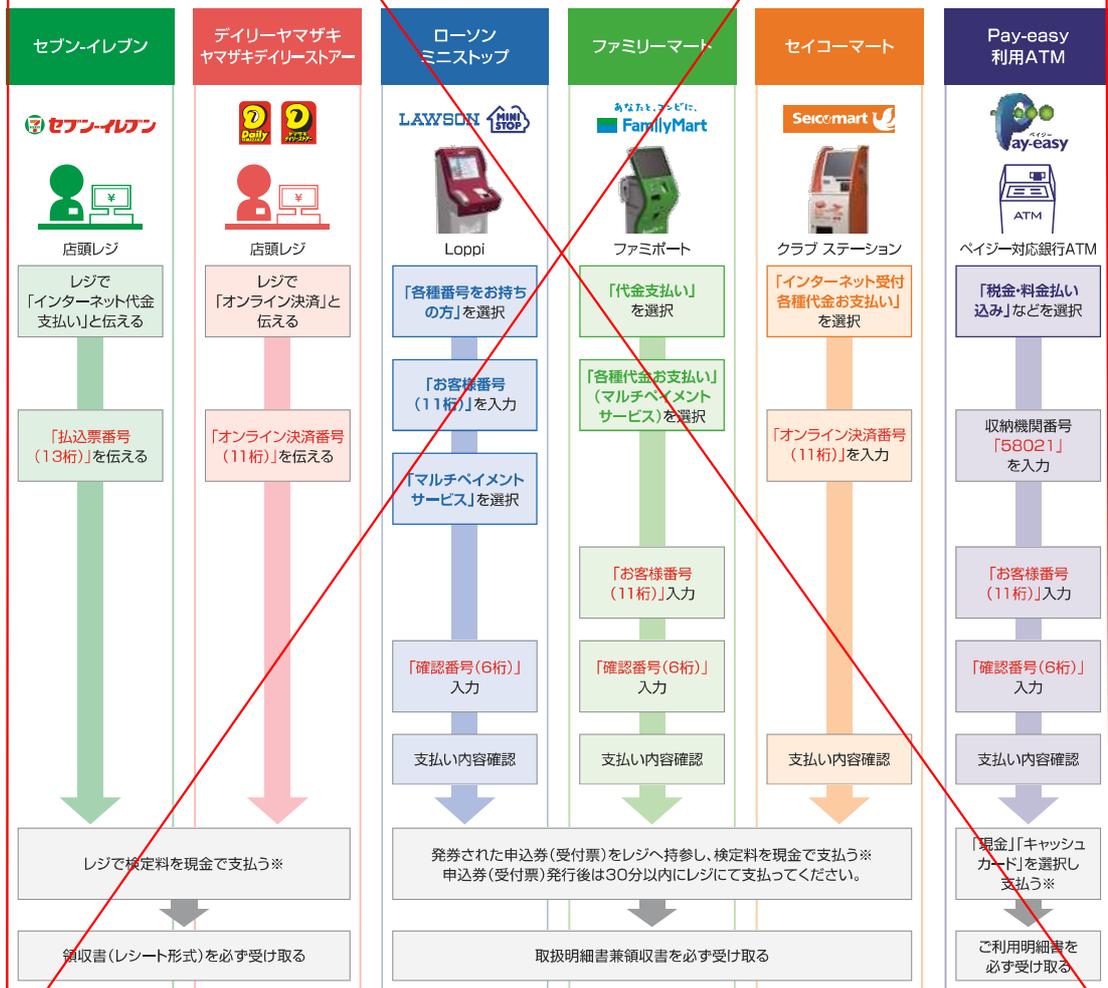


※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

4 銀行ATM



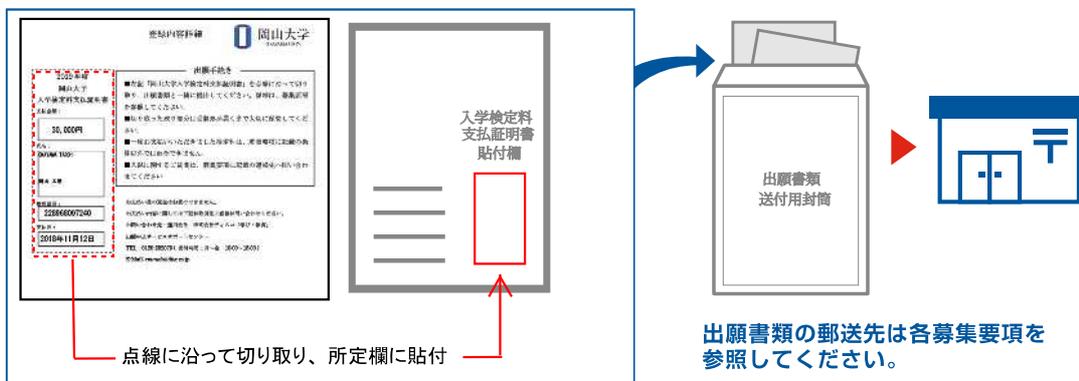
※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

5

入学検定料支払証明書の印刷

個人情報登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、入学検定料支払証明書を点線に沿って切り取り、所定欄へ貼付してください。その他の出願に必要な書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「国際スピード郵便」で郵送してください。※出願締切日は各募集要項を参照してください。



〈支払完了〉

出願時の 注意点

出願は学生募集要項記載の必要書類と入学検定料支払証明書を併せて郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

支払は24時間可能です。個人情報登録、入学検定料の支払は出願締切日17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

岡山大学大学院社会文化科学研究科博士後期課程の概要

本研究科博士後期課程は、「社会文化学専攻」の1専攻からなり、「文化共生学講座」、「人間社会科学講座」、「政策科学講座」の3講座で構成されています。そして、3講座のもとに、6教育・研究分野（人間文化論、社会文化論、日本文化論、比較社会発展論、公共政策論、現代企業論）を置いています。

1 講座・教育研究分野の概要

(1) 文化共生学講座

本講座は、人間と人間の共生に関して、諸文化の歴史と独自性を前提とした未来形成的な集合的営みという観点から教育・研究することを目的とします。

世界の諸文化における共生の思想・歴史・現状を考究することにより、進展する国際化と情報化の中で不可避免的に生じる文化や価値観・世界観の対立・衝突を回避し、文化の多様性の保持と秩序化、並びに文化の多様性の活性化と制御を図り、諸領域における異文化間の創造的な共生の構築に貢献できる高度専門的職業人と研究者を育成することを目指します。

① 人間文化論

本教育・研究分野は、人類の長い歴史における非共生的あるいは反共生的な事態に対する反省・批判として試みられてきた共生を模索する数多くの思想や努力・実践を古代からの哲学・思想や文学・芸術の中に探求するとともに、異文化の接触過程において生じる人間相互の誤解・摩擦・対立等の根本構造を最大の対立要因たる価値観・世界観の視点から研究し、文化共生のモデルの探求を行います。

② 社会文化論

本教育・研究分野は、多文化間の共生と異文化間の理解に関わる諸問題に対して、社会・文化の共生・交流の観点から学問的に高いレベルにおける考察の展開を試み、こうした現代社会の問題に創造的・開拓的に関わりうる人材を育成します。

具体的には、心理・言語・宗教・経済の観点を主としながらも、集団間の関係性の探究やエスニシティ、ジェンダーといった新たな切り口も積極的に取り入れ、最先端の分析と考察を行います。

(2) 人間社会科学講座

本講座は、人間と人間の共生に関して多様な文化・社会を背景とした諸個人によるグローバルな、あるいはローカルな秩序形成という観点から教育・研究することを目的とします。

日本・アジア・欧米の文学・言語・芸術・思想・宗教・政治・経済等の諸分野における歴史と現状を深くかつ広く考究することにより、確固とした方法論の裏付けをもって世界市民として異文化理解と文化交流の実践、並びに人間共生の問題解決に寄与できる高度専門的職業人と研究者を育成することを目指します。

① 日本文化論

本教育・研究分野は、日本文化の創生・生成の仕組みを先史時代からの異文化や他者との共生や融合という視点で捕え直して、日本における文化創生の動的・歴史的なメカニズムを探るとともに、日本固有の人間共生と文化共生の特色を考察して、他者・異文化との共生の新しいあり方を提起し、文化の生成・接触・交流・創造的共生のプロセスに関する普遍化可能な理論の構築を図ります。

② 比較社会発展論

本教育・研究分野は、欧米における文化の複合性を意識・思想・制度の面から通時的・共時的あるいは対比的に検証し、アジアにおいては19世紀以降、急速に進んだ世界の一体化の中で近代にいかに向き合ってきたのか、その過程で旧来の伝統社会や文化はどのように変容してきたのかを学際的に考察し、更にまた欧米やアジアの各種の社会制度・社会文化の比較等を人間共生・文化共生の視点から行います。

(3) 政策科学講座

本講座は、産業・社会と人間との共生を目指し、産業・地域社会の発展を可能にするための理論と政策を社会科学的不いしは社会学的観点から追求することを教育・研究目的とします。国際的な地域間の経済的統合と連携を視野に入れ、経済・経営分野、地理学分野及び法学・政治学分野の研究者が相互に協力しながらこの目的の実現を図ります。具体的には、産業や企業・公的組織において政策立案能力を有し、指導的立場となる高度専門的職業人の育成を目指します。また国内外でこれらの分野の専門的な研究を担っていく研究者を育成します。

① 公共政策論

本教育・研究分野では、地域社会発展のための公共政策、すなわち、地域としての発展と自立性を重視した教育・社会福祉・経済・行政等の各システムや政策を考察の対象とします。このために地域共生社会を創出するための総合的諸施策の探求が、法学・政治学・経済学・経営学・地理学の分析枠組みを踏まえて総合的観点から行われます。

② 現代企業論

本教育・研究分野では、企業経営、企業行動及び企業会計、企業法制といった諸領域に密接な関わりを持ち、社会に対して強い影響力を持つ企業組織の活動について、多角的に分析できる能力を培います。具体的には、組織が目標を達成する上で求められる経営上の管理や戦略のあり方、企業活動を財務的、統計的手法によって測定する方法を教育するとともに、企業取引に伴う企業取引法、企業紛争処理法などの法制的考察を行います。

2 取得できる学位

博士後期課程の修了者には、「博士」の学位が授与されます。付記する専攻分野の名称は、(文化科学) (文学) (法学) (経済学) (経営学) 又は (学術) です。

- (1) (文化科学)は、文化共生・人間共生・地域共生・異文化交流・異文化理解・共生社会の構築に関する新しい複合的・学際的な視点の研究に付与します。
- (2) (文学) (法学) (経済学) (経営学)は、文学・法学・経済学・経営学 (会計学を含む) の各学問分野で行われる伝統的な研究に付与します。
- (3) (学術)は、文学・法学・経済学・経営学 (会計学を含む) の各学問分野で行われる伝統的な研究や共生・異文化交流に関わる研究の枠に収まらない新しい複合的・学際的な視点の研究に付与します。

3 博士後期課程担当教員一覧

本研究科博士後期課程の講座・授業科目及び担当教員は、次のとおり予定しています。入学願書の志望教員欄の記入に際して、参考にしてください。なお、入学時の授業科目の開講及び担当教員を約束するものではありません。

(1) 文化共生学講座

2021年10月1日現在（予定）

教育・研究分野	授業科目	担当教員
人間文化論	現代哲学、同演習	准教授 植村 玄輝
	テキストの社会文化論、同演習	【准教授 野呂 康】
	日本文学人間論、同演習	***教授 田仲 洋己
	中国文学人間論、同演習	【准教授 橘 英範】
	英米文学人間論1、同演習	**教授 剣持 淑
	英米文学人間論2、同演習	未定
	英語文化表現論、同演習	准教授 寺西 雅子
	現代英文学と理論、同演習	准教授 フォックス ブライアントマス
	ドイツ文学人間論、同演習	***教授 久保田 聡
	現代ドイツ文学、同演習	准教授 シング アネテ
	フランス文学人間論、同演習	【准教授 萩原 直幸】
	ジェンダー考古学、同演習	教授 松本 直子
	社会考古学、同演習	准教授 光本 順
	中国思想史論、同演習	准教授 孫 路易
	日本美術発展史論、同演習	未定
	ヨーロッパ近代美術論、同演習	※ 【准教授 龍野 有子】
	芸術表象論、同演習	准教授 本田 晃子
美学・芸術学、同演習	准教授 岡本 源太	
社会文化論	社会文化共生論、同演習	【准教授 中尾 知代】
	文化共生史論、同演習	未定
	社会哲学、同演習	教授 竹島 あゆみ
	法哲学、同演習	教授 大森 秀臣
	法社会学、同演習	未定
	地域社会学、同演習	教授 藤井 和佐
	現代社会学、同演習	准教授 齋藤 圭介
	ジェンダー文化論、同演習	教授 中谷 文美
	社会文化情報論、同演習	*教授 延味 能都
	社会的認知論、同演習	教授 堀内 孝
	現代社会心理学、同演習	教授 田中 共子
	臨床心理学、同演習	教授 安藤 美華代
	臨床心理学、同演習	未定
	臨床心理学、同演習	*教授 塚本 千秋
	臨床心理学、同演習	【教授 東條 光彦】
	臨床心理学、同演習	准教授 桑原 晴子
	親族構造の歴史学、同演習	教授 清家 章
	社会言語学、同演習	【准教授 中東 靖恵】
	言語社会学、同演習	教授 栗林 裕
	形態統語類型論、同演習	【准教授 片桐 真澄】
	コミュニケーション文化論、同演習	准教授 松村 圭一郎
	東南アジア社会文化史論、同演習	未定
	東アジア古代・中世史論、同演習	准教授 土口 史記
	ヨーロッパ政治・社会史論、同演習	【准教授 吉田 浩】
	インド洋海域史論、同演習	【准教授 和田 郁子】
	法文化史論、同演習	【講師 大泉 陽輔】

***印の教員は、2022年3月31日退職予定です。

**印の教員は、2023年3月31日退職予定です。

*印の教員は、2024年3月31日退職予定です。

【 】付きの教員を指導教員として希望することはできません。

※印の教員を指導教員として希望することはできません。

(2) 人間社会科学講座

2021年10月1日現在(予定)

教育・研究分野	授業科目	担当教員
日本文化論	日本文化史論、同演習	准教授 徳永 誓子
	日本古代社会文化論、同演習	教授 今津 勝紀
	日本近現代言語文化論、同演習	【准教授 西山 康一】
	日本言語文化交流史論、同演習	教授 山本 秀樹
	日本言語論、同演習	*教授 江口 泰生
	日本語史論、同演習	【准教授 京 健治】
	現代日本語文法論1、同演習	教授 宮崎 和人
	現代日本語文法論2、同演習	准教授 堤 良一
比較社会発展論	日欧比較文化論、同演習	未定
	東アジア比較近代化論、同演習	未定
	日韓言語文化史論、同演習	【教授 陳 南澤】
	中国近代言語文化史論、同演習	教授 遊佐 徹
	近代ドイツ言語文化論、同演習	【准教授 大杉 洋】
	英語言語論、同演習	教授 田中 秀和
	フランス言語論、同演習	准教授 ルウ ロック
	国際政治論、同演習	教授 河原 祐馬
	国際機構法論、同演習	教授 黒神 直純
	国際法論、同演習	【講師 小栗 寛史】
	国際裁判論、同演習	教授 李 禎之
	国際物流論、同演習	教授 津守 貴行
	日本経済史論、同演習	教授 尾関 学
	東洋経済史論、同演習	【講師 佐藤 淳平】
	欧米経済史論、同演習	教授 福士 純
	中国経済論、同演習	**教授 藤 鑑
	移行期経済論、同演習	***教授 田口 雅弘

***印の教員は、2022年3月31日退職予定です。

**印の教員は、2023年3月31日退職予定です。

*印の教員は、2024年3月31日退職予定です。

【 】付きの教員を指導教員として希望することはできません。

※印の教員を指導教員として希望することはできません。

(3) 政策科学講座

2021年10月1日現在(予定)

教育・研究分野	授業科目	担当教員	
公共政策論	現代政治論、同演習	教授 成廣 孝	
	現代政治思想論、同演習	教授 小田川 大典	
	比較憲法論、同演習	【准教授 堀口 悟郎】	
	理論憲法学、同演習	准教授 山田 哲史	
	租税政策論、同演習	准教授 小塚 真啓	
	現代刑法論、同演習	教授 塩谷 毅	
	現代刑事法理論、同演習	教授 一原 亜貴子	
	現代刑事訴訟法論、同演習	教授 原田 和往	
	現代行政手法論、同演習	【講師 田代 滉貴】	
	現代官僚制論、同演習	教授 築島 尚	
	行政手続・訴訟法論、同演習	准教授 福重 さと子	
	マクロ経済理論、同演習	教授 横尾 昌紀	
	ミクロ経済理論、同演習	教授 東 陽一郎	
	計量経済学、同演習	【准教授 生川 雅紀】	
	産業組織論、同演習	【准教授 佐藤 美里】	
	公共経済学、同演習	教授 古松 紀子	
	環境経済学、同演習	准教授 山口 恵子	
	財政政策論、同演習	教授 岡本 章	
	都市地域政策論、同演習	**教授(特任) 中村 良平	
	日本経済論、同演習	※ 教授 釣 雅雄	
	国際金融論、同演習	【准教授 蔡 暁静】	
	社会保障の経済学、同演習	教授 岸田 研作	
	金融経済学、同演習	教授 浅野 貴央	
	国際経済学、同演習	【講師 大越 裕史】	
	労働経済学、同演習	【講師 東 雄大】	
	文化地理学、同演習	准教授 高野 宏	
	経済地理学、同演習	教授 北川 博史	
	現代企業論	比較債権法論、同演習	【講師 嶋津 元】
		企業組織法論、同演習	教授 張 紅
		現代労使関係法論、同演習	【准教授 土岐 将仁】
民事訴訟法論、同演習		【准教授 濱田 陽子】	
現代契約法論、同演習		【講師 中村 瑞穂】	
現代家族法論、同演習		【准教授 中川 忠晃】	
現代会社法論、同演習		教授 赤木 真美	
現代企業法論、同演習		教授 増田 史子	
統計推測論、同演習		未定	
経済計測論、同演習		**教授 張 星源	
応用確率モデル論、同演習		教授 村井 浄信	
リーダーシップ論、同演習		【講師 尾関 美喜】	
組織行動論、同演習		**教授 松田 陽一	
マーケティング論、同演習		准教授 日高 優一郎	
経営戦略論、同演習		【准教授 西田 陽介】	
技術経営論、同演習		【教授 藤井 大児】	
地域企業論、同演習		【准教授 戸前 壽夫】	
コーポレートファイナンス論、同演習		【准教授 酒本 隆太】	
キャッシュフロー会計論、同演習		准教授 中川 豊隆	
管理会計論、同演習		【講師 天王寺谷 達将】	

***印の教員は、2022年3月31日退職予定です。

**印の教員は、2023年3月31日退職予定です。

*印の教員は、2024年3月31日退職予定です。

【 】付きの教員を指導教員として希望することはできません。

※印の教員を指導教員として希望することはできません。

(4) 国際教育科学講座

2021年10月1日現在（予定）

教育・研究分野	授業科目	担当教員
ESD・ESDGs 論	ESD・ESDGs 論、同演習	教授 藤井 浩樹
GCED 論	GCED 論、同演習	教授 桑原 敏典
	Social Issues in GCED 論、同演習	【講師 Shawna Carroll】

【 】付きの教員を指導教員として希望することはできません。